

戦争が終わったら、
新たな闘いがはじまりました。



満州から引き揚げた
村上ひさのさんの娘
征子がいつも抱いていた
手作りの人形。

六月七日

征子帰らず。尋ねしかれど帰らず。

六月八日

征子はどこでどうしているのだろうか。夜眠れず。

「征子！征子！」呼べどいない。

女性たちの戦争展

戦後の過酷な日々と闘った彼女たちの姿がここにある。

2020年1月7日(火) - 3月29日(日) 開館時間 / 9:30~17:30 (入館は17:00まで)
休館日 / 毎週月曜日 (祝日・振替休日の場合は翌日)、2月2日(日)

平和祈念展示資料館 (総務省委託)
新宿住友ビル33階

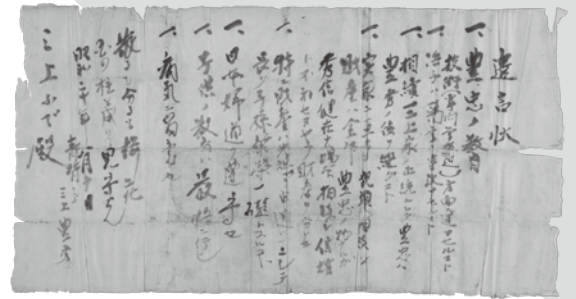
東京都新宿区西新宿2-6-1 Tel:03-5323-8709
<https://www.heiwakinen.go.jp>

入館
無料

女性たちの戦争展

戦後の過酷な日々と
闘った彼女たちの姿がここにある。

戦後の苦しくつらい体験を伝える上で、女性たちの存在はとても大きなものです。シベリアに抑留された夫の帰りを待ち続ける妻、幼い子どもを抱えて満州から引き揚げる母親。家族との死別や生き別れにより、生涯にわたって深い悲しみに暮れた女性も少なくありません。本企画展では、そのような女性たちの戦争体験を貴重な資料とともに紹介します。



ソ連参戦後に夫が妻へ宛てた遺言状／三上ふで



生き別れた娘の手袋とワンピース／村上ひさの



シベリアから帰還した夫との再会の写真／南保八重子



生後1か月の赤ん坊を運んだ柳行李／矢崎節子

企画展関連イベント（参加無料・予約不要）

■ギャラリートーク

学芸員による展示解説を行います。

1月19日（日）、2月16日（日）、3月15日（日）
各日とも13:00～（約30分）

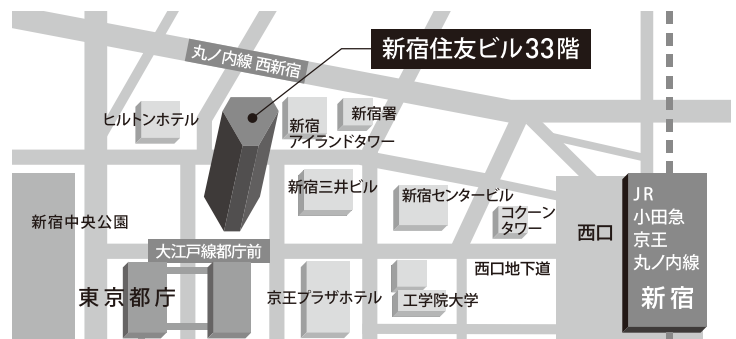
■語り部お話し会

満州から引き揚げた女性が自身の戦争体験を語ります。

1月19日（日）土屋冴子さん「満州公主嶺 私の故郷」
2月16日（日）田中信子さん「7歳の少女が見た満州からの引揚げ」
3月15日（日）福岡澄子さん「フランス、ドイツ、満州での避難生活」
各日とも14:00～（約60分）

■座談会

土屋冴子さん、田中信子さん、福岡澄子さんの3名を迎え、学芸員が聞き手となり、女性の視点から見た戦争に迫ります。
3月29日（日）14:00～（約90分）



- 都営大江戸線〈都庁前〉駅より徒歩約3分
- 東京メトロ丸ノ内線〈西新宿〉駅より徒歩約7分
- JR線、小田急線、京王線〈新宿〉駅西口より徒歩約10分